

## 校長室だより～ロングビュー紀行 第1号 H29.8.29

埼玉県立和光高等学校 校長 村田 達

### プロローグ

本校のある埼玉県和光市はアメリカ合衆国ワシントン州ロングビュー市と姉妹都市である。その経緯を語るには、今から30年前の和光国際高校初年度の国際理解教育に遡らなければならない。

1987年(昭和62年)4月、新設和光高校と呼ばれていた学校が華々しく開校する。曰く、日本で最初の「国際高校」・外国語科と情報処理科の併設による新しい教育活動・外国語科では仏独中の第二外国語必修などなど、そして極めつけが最先端の国際理解教育。初代校長松本等先生と川端純夫教頭先生、さらに後に校長となる柴原邦幸先生らのご尽力により、生徒の海外派遣が実現する。その相手先として選んだのがロングビュー市のマークモリスハイスクール。初年度夏休みにはおよそ20人の1年生(1期生)がホームステイを実施し以後継続してこの事業が続いた。今となっては何てことの無い普通の話だがなにしろ30年前の話。きわめてセンセーショナルなデビューを飾ったものだ。かくいう私も開校時に和光高校から転勤し、新しい学校づくりに挑んだ職員の一員である。実はこの両校の結びつきがスタートとなって両市の関係が深まっていくのだが、海外出張など夢のような時代に引率の順番待ちをしていたのが当時の自分だったのだ。

時は移り平成26年、初任校である和光高校に校長として出戻ることとなる。和光市役所寄口課長から、途切れていた「ロングビュー派遣」の話をいただき早速に飛びつく。そして昨年10月には生徒10名と引率教諭2名がロングビューを訪ねることとなった。和光高校45年目にして和光国際高に奪われた悲願の国際事業に参入することが出来た瞬間だった。



そして今年夏休み、いよいよ私自身がホームステイをする生徒と共に30年前の夢をかなえることとなった。以後6泊8日の海外生活をご紹介します。